日経新聞 2021 年 10 月 30 日の「地ビール」の記事、全国版のほか、
14 ある地方版の全ての関連記事で、きた産業のデータが引用されました。

©日本経済新聞社 2021 （日刊）

日本経済新聞 土曜版 NIKKEI 2021年（令和3年）10月30日 土

日本経済新聞 2021年（令和3年）10月30日

データで読む 地域再生

地ビール 流行から産業に

醸造500カ所、10年で2.5倍

少量生産で個性的な味わいが特徴の「クラフトビール（地ビール）」が再び注目を集めている。民間集計では全国の醸造所は500カ所超と10年で2・5倍になった。規制緩和を受けた1990年代後半のブームは品質が不安定な業者も目立ち、収束したが、地道に技術を磨いた作り手が復活の礎を築き、地域振興の「芽」へと成長した。（関連記事を地域経済面に）

94年の酒税法改正で、ビールの年間最低製造量は従来の3%に引き下げられ、大手4社の寡占に風穴があいた。酒類容器製造、きた産業（大阪市）によると、クラフトビールの醸造所は2021年9月時点で528カ所。直近の底だった11、12年比で300カ所以上増えた。消費者の好みの多様化や低価格の設備が増えたことが背景にある。

都道府県別では東京都が73カ所で首位。2位は36カ所の神奈川県で、クラフトビールを扱う飲食店が多い都市部が強みを発揮した。3位以下は北海道、静岡県、長野県の順。国税庁の調査によると、02年度は販売形態別でレストラン併設の醸造所が64%と最多だったが、09年度に逆転した。地方で上位の自治体には地域に根ざしつつ、積極的に販路を広げた醸造所が目立つ。

北海道では法改正後、オホーツクビール（北見市）が全国で初めて製造免許を取得した。醸造所の数は14年までトップで、その後も3位以上を維持する。

網走ビール（網走市）は06年に民事再生法の適用を申請し、市内の別の会社が立て直した。流氷を仕込み水に使い、08年に発売した「流氷ドラフト」などがヒット。21年8月期の出荷本数は過去最高の157万本となった。百貨店の物産展などで知名度を高める一方、加熱処理を加えて賞味期限を延ばし、道外の販路は6割、海外も1割になった。

静岡、組合作りファン開拓

静岡県は21カ所の醸造所のうち15カ所が東部に集中するが、販路は首都圏が主だった。地元での消費を増やそうと、製造業者など6社は6月、協同組合を設立。原材料の共同購入などに取り組む一方、イベントを通じてファンを増やす。11月に各社のビールを味わえる催しを開く予定で、代表理事を務める柿田川ブリューイング（沼津市）の片岡哲也社長は「組合の仲間を増やし、県民が自慢できるお酒に育てたい」と話す。

かつてのブームは「町おこし」の意味合いが強く、産業として根付かなかった。ただ、穀物、植物、野菜、果物など原料は多彩で、地元産を使うことで地域振興とも結びつく。

京都府与謝野町はビールに苦みや香りを出すホップに着目した。東北以北が主な産地だが、ブランド戦略の一環として農家を支援し、15年から生産を始めた。他地域より早い7月初めに収穫できるので「真夏に味わえる新ビール」と売り込める。21年のホップの収穫は約870キロ㌘と15年比で8倍になり、販路は20以上の都府県に広がる。

規制緩和当時にはなかった仕組みなどを活用する動きもある。徳島県美波町は地域おこし協力隊を募り、登録有形文化財「谷家住宅」の離れを使ったクラフトビール造りを計画。ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」では、3年前比で5倍以上の約300自治体が返礼品として扱う。キリンビールが17年からサービスを始めた飲食店向けサーバー「タップ・マルシェ」には岩手、山口、宮崎など全国12の醸造業者が参画し、設置店舗は約2万4000店になった。

クラフトビールの醸造量はビール全体の1%程度。知恵と工夫で新たな需要を掘り起こせる可能性を秘めている。

（江口博文、亀田知明、久貝翔子、高橋徹）

都道府県別の地ビールの醸造所数
（2021年9月時点）

▨	41カ所以上
▨	21～40カ所
▨	16～20カ所
▨	11～15カ所
▨	5～10カ所
▨	5カ所未満

（注）きた産業（大阪市）の「全国醸造所リスト」を基に作成。発泡酒及びビール大手4社の醸造所を含む

出荷量の多い主なブランド

		提供開始
エチゴビール	新潟市	95年
常陸野ネストビール	茨城県那珂市	96年
オラホビール	長野県東御市	96年
よなよなエール	長野県軽井沢町	97年
伊勢角屋麦酒	三重県伊勢市	97年
箕面ビール	大阪府箕面市	97年
網走ビール	北海道網走市	99年
ベアレン・クラシック	岩手県盛岡市	01年
ベアードビール	静岡県伊豆市	01年
サンクトガーレン	神奈川県厚木市	03年

（注）東京商工リサーチの「地ビールメーカー動向調査」などを基に作成

全国の醸造所は10年間で2.5倍に増えた

ビアフェスティバルで国内外の地ビールを味わうファンら（2019年）＝日本地ビール協会提供

証明があれば入国後の隔離を免除する体制に移行した。シンガポールのような厳しい検

企業にとっても、海外から戻ってきた社員が最短でも10日は自宅待機で出社できないとなると、仕

材では10月1日時点でその数は37万人に及んでいる。日本私立大学連盟によると、留

北した。

が可決。TOB（株式公開買い付け）を表明していたオーケーは敗

オーケーは一株2250円のTOBを表明していた。しかも地域での最低価格を掲げる同社の経営

必要がある。今回の賛成率は66・68%と薄氷の勝利だった。それだけにH2Oは株主価値の向上への

スト削減と売り上げ増という相反する課題やデジタル化に早急に取り組まなければならない。

きた産業

首都圏東京版

地ビール醸造所数 関東・山梨

東京73ヵ所で全国首位

小笠原商店 三鷹市産原料にこだわり

関東・山梨8都県のクラフトビール（地ビール）醸造所数は2021年9月時点で計180カ所と10年間で3・8倍に急増した。東京都は73カ所で全国首位、神奈川県は36カ所で同2位だった。各メーカーは地元産原料を使った商品開発や、地域のスポーツチームやイベントとの連携に取り組んでおり、地域経済での存在感が増している。

小笠原商店（東京都三鷹市）は市内でホップの栽培も進めている

大都市での増加割合が大きい

都県	地ビール醸造所数	10年間の増加割合
東京	73	9.1倍
神奈川	36	3.6倍
千葉	17	4.3倍
埼玉	17	3.
群馬	11	
栃木	9	80%
山梨	9	2.3倍
茨城	8	2倍

（注）きた産業（大阪市）の「全国醸造所リスト」を基に作成。2021年9月時点。発泡酒及びビール大手4社の醸造所を含む

データで読む 地域再生

きた産業

大阪・関西広域版

データで読む 地域再生

地ビール醸造所 関西10年で3倍

彦根「原料から一貫」挑む

関西のクラフトビール醸造所

	醸造所数	増加数
大阪府	19	14
兵庫県	19	11
京都府	11	
奈良県		7
滋賀県		5
和歌山県	7	5

（注）醸造所数は2021年9月時点。増加数は10年前との比較。きた産業（大阪市）の「全国醸造所リスト」を基に作成

京都・与謝野町 生産ホップの販路拡大

彦根麦酒の荒神山醸造所では試飲もできる（滋賀県彦根市）

きた産業

首都圏神奈川版

地ビール醸造所数 関東・山梨

神奈川36ヵ所で全国2位

サンクトガーレン 厚木に初の直営店

関東・山梨8都県のクラフトビール（地ビール）醸造所数は2021年9月時点で計180カ所と10年間で3・8倍に急増した。東京都は73カ所で全国首位、神奈川県は36カ所で同2位だった。各メーカーは地元産原料を使った商品開発や、地域のスポーツチームやイベントとの連携に取り組んでおり、地域経済での存在感が増している。

サンクトガーレンは多品種のクラフトビールを楽しめる直営店を開業した（神奈川県厚木市）

大都市での増加割合が大きい

都県	地ビール醸造所数	10年間の増加割合
東京	73	9.1倍
神奈川	36	3.6倍
千葉	17	4.3倍
埼玉	17	
群馬	11	
栃木	9	80%
山梨	9	2.3倍
茨城	8	2倍

（注）きた産業（大阪市）の「全国醸造所リスト」を基に作成。2021年9月時点。発泡酒及びビール大手4社の醸造所を含む

データで読む 地域再生

きた産業

中部版

地ビール

データで読む 地域再生

愛知県産ホップ使い個性

岐阜では城下町に醸造所

東海4県の地ビール醸造所

		醸造所数	10年間増減率
1	静岡	21	61.5%
2	愛知	13	85.7%
3	三重	8	▲11.1%
4	岐阜	5	25%

（注）きた産業（大阪市）の「全国醸造所リスト」を基に作成。9月時点。▲はマイナス。発泡酒及びビール大手4社の醸造所含む

浜松市の「オクタゴン ブリューイング」では地域の他事業者の依頼を受けてクラフトビールづくりも請け負う

きた産業

九州・沖縄版

九州・沖縄の地ビール醸造所

沖縄県、最多の11ヵ所

南国の材料こだわる

福岡・宗像では団地で製造

九州・沖縄の地ビール醸造所数
（2021年9月時点）

県	醸造所数	増加率
福岡	8カ所	33.3％
佐賀	1	横ばい
長崎	1	皆増
熊本	5	
大分	4	
宮崎	8	166.7
鹿児島		80.0
沖縄	11	175.0

（注）きた産業の「全国醸造所リスト」を基に作成。発泡酒およびビール大手4社の醸造所を含む。増加率は11年比

ヘリオス酒造のクラフトビールの醸造施設（沖縄県名護市）

奄美はなはなエールは

データで読む 地域再生

きた産業

首都圏埼玉版

地ビール醸造所数

埼玉10年間で3.4倍

ール「祭エール」で盛り上げ

データで読む 地域再生

都県	地ビール醸造所数	10年間の増加割合
千葉	17	4.3倍
埼玉	17	3.
群馬	11	
栃木	9	80%
山梨	9	2.3倍
茨城	8	2倍

（注）きた産業（大阪市）の「全国醸造所リスト」を基に作成。2021年9月時点。発泡酒及びビール大手4社の醸造所を含む

きた産業

北関東版

地ビール醸造 関東・山梨

栃木 メーカー連携でPR

8社で協議会 品質向上や販売拡大狙う

栃木マイクロブルワリー（宇都宮市）では年間60～70種類のビールを醸造している

大都市での増加割合が大きい

都県	地ビール醸造所数	10年間の増加割合
東京	73	9.1倍
神奈川	36	3.6倍
千葉	17	4.3倍
埼玉	17	
群馬	11	37.5%
栃木	9	80%
山梨	9	2.3倍
茨城	8	2倍

（注）きた産業（大阪市）の「全国醸造所リスト」を基に作成。2021年9月時点。発泡酒及びビール大手4社の醸造所を含む

データで読む 地域再生

きた産業

中国版

地ビール醸造所

中四国、10年で3.9倍

広島・尾道 雇用の場も創出

中四国各県の地ビール醸造所数

（注）2021年9月末時点
（出所）きた産業の全国醸造所リストから作成

地ビール醸造所は増加傾向

（出所）きた産業全国醸造所リストから作成

尾道の障害者支援施設で生まれた「あずみビール」

地ビールフェスタｉｎ米子には伊沢勇人・米子市副市長㊧も参加した（29日、鳥取県米子市）

データで読む 地域再生

きた産業

信越版

北信越の地ビール醸造所数

長野トップ、新潟2位

北信越5県のクラフトビール醸造所数

順位	県名	醸造所数	10年間増加割合	10年間増加数
1	長野	20カ所		11カ所
2	新潟		2.1倍	8
3	富山		16.7%	1
4		5	66.7%	2
5	福井	3	0	0

（注）2021年9月末時点。発泡酒を含む。
（出所）きた産業（大阪市）の全国醸造所リスト

地産品利用や自治体と連携 地元振興に一役

ヤッホーブルーイングはエールビールに特化した醸造所だ

沼垂ビールは新潟県の食材を使ったクラフトビールを醸造する

データで読む 地域再生

きた産業

東北版

地ビール醸造所数

岩手 東北最多13ヵ所

ホップの産地、水も良質

官民で観光イベント開催

本間社長は20年秋、念願だったビール醸造を始めた（26日、福島県田村市のホップジャパン）

東北6県のクラフトビール醸造所数

順位	県名	醸造所	10年間増加割合	10年間増加数
1	岩手	13カ所	2.6倍	8カ所
2	宮城	9	2.3倍	5
3	福島	8	2.7倍	
4	山形	6		3
5	青森	5	倍	3
5	秋田		66.7％	2

（注）2021年9月末時点。発泡酒やビール大手の醸造所を含む
（出所）きた産業（大阪市）のリスト

データで読む 地域再生

きた産業

北陸版

北信越の地ビール醸造所数

長野トップ、新潟2位

順位	県名	醸造所数	10年間増加割合	10年間増加数
1	長野	20カ所	2.2	11カ所
2	新潟	15		8
3	富山	7	%	1
4	石川	5	66.7%	2
5	福井		0	0

（注）2021年9月末時点。発泡酒を含む。
（出所）きた産業（大阪市）の全国醸造所リスト

地産品利用や自治体と連携 地元振興に一役

ヤッホーブルーイングはエールビールに特化した醸造所だ

データで読む 地域再生

きた産業

静岡版

静岡21ヵ所、全国4位

地ビール醸造所数

データで読む 地域再生

消費促す催し活発

業界挙げて盛り上げ

東海4県（愛知、岐阜、三重、静岡）で、個性的なビール類を少量生産する「クラフトビール（地ビール）」の醸造所数が最も多かったのは静岡だった。全国でも4位に入った。首都圏に近い観光地を抱える強みがある。醸造所間の連携や、業界を挙げて盛り上げようとする動きが活発だ。大消費地の名古屋を抱える愛知は11位につけた。

クラフトビールで地域の活性化を狙う（写真上）。地域の他事業者の依頼を受けてクラフトビールづくりも請け負う（いずれも「オクタゴン ブリューイング」、浜松市）

東海4県の地ビール醸造所

		醸造所数	10年間増減率
1	静岡	21	61.5%
2	愛知	13	85.7%
3	三重	8	▲11.
4	岐阜	5	

（注）きた産業（大阪市）の「全国醸造所リスト」を基に作成。9月時点。▲はマイナス。発泡酒及びビール大手4社の醸造所含む

きた産業

四国版

地ビール醸造所

中四国、10年で3.9倍

地ビール醸造所は増加傾向

（出所）きた産業全国醸造所リストから作成

大三島ブリュワリーは島内の酒事業者などと組んで島のブランド化を進める

モモやオリーブ 原料に特産生かす

中四国各県の地ビール醸造所数

（注）2021年9月末時点
（出所）きた産業の全国醸造所リストから作成

今治街中麦酒は地場産品を使ったクラフトビールで地域の活性化を目指す

データで読む 地域再生

きた産業

北海道版

地ビール醸造所数

道内28ヵ所、全国3位

網走・美深・ニセコ・小樽…

地元素材で存在感

北海道の地ビール醸造所は東京や神奈川に次ぐ多さ

順位	都道府県	醸造所数	10年間の増加数
1	東京都	73	65
2	神奈川県	36	26
3	北海道	28	8
4	静岡県	21	8
5	長野県	20	11
6	大阪府	19	14
6	兵庫県	19	11
8	埼玉県	17	12
8	千葉県	17	13
10	新潟県	15	8

（注）きた産業（大阪市）の「全国醸造所リスト」を基に作成。9月末時点。発泡酒及びビール大手4社の醸造所を含む

北海道の醸造所数は14年以降回復傾向

（注）きた産業の「全国醸造所リスト」を基に作成。9月末時点。

小樽ビールはピルスナーやドンケルなど数種類のビールを用意している

データで読む 地域再生

きた産業